

テック インフラ Tech Infraだより vol.2

世界中で増加するデジタル情報が データセンター需要をけん引

2018年10月12日

聞いたことがあるようでよくわからない、
しかし大きな需要があるデータセンターについてご説明します。

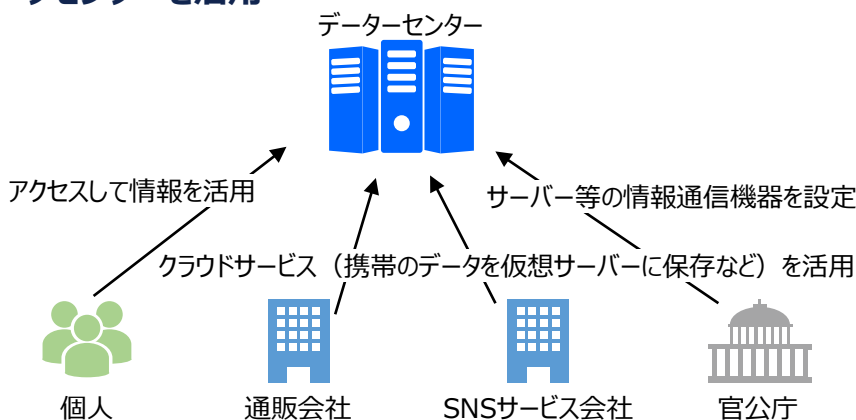
**データセンターは通信設備
等に特化した施設**

データセンターとは、各種コンピュータやデータ通信、IP電話などの装置を設置・運用することに特化した建物の総称です。情報技術の進化により、2025年の世界のデータ通信量は163兆GB（2000年は62億GB）になる見込みであり、データセンターはそのトレンドに必須のインフラ、つまりテクノロジー・インフラです。

個人・法人・政府系団体などがデータセンターを活用

データセンター活用の利点例

- 地震や火災などに十分な対策をしている
- 安定して電力を供給している
- 温度・湿度の管理をしている
- セキュリティ対策をしっかりとっている
- 高速通信を利用できる など



実は毎日お世話になっている データセンター

いつものように携帯のメッセージアプリで友達にスタンプを押します。実はこのアクション、みなさんがデータセンターを使うこととなります。実際にはテクノロジー・インフラの1つ、通信タワー（電波）も使っていますがここでは割愛します。携帯電話はただの電子機器です。遠くにいる友達と携帯でコミュニケーションがとれるのも、データセンターにあるサーバーにアクセスしているからです。

増加するデジタル情報に 備えるデータセンター

電車に乗ると、多くの人々が携帯で、ニュースを読んだり、ゲームをしています。今では勉強も携帯を使う人が増えています。大きなトレンドとしては、ビッグ・データや5G、AIなどデジタル情報は増加していきます。これに加えて、企業も増加するデジタル情報を、安心して処理・保存・活用するためには、専用の施設が必要となります。そのため、データセンターの数は増加していくことが見込まれます。

ライフスタイルの変化によるデータセンター需要の変化

(現在)

一たび必要なデータを落とせば十分であったり、少ないデータ量の管理で十分であったりするため、データセンターの需要が小さい。

(活用例) 電子書籍、音楽・動画ファイル、簡易分析の数値情報など



(将来)

常時双方向でデータをやり取りする必要があったり、多くのデータ量の管理が必要となったりするため、高品質のデータセンターの需要が大きい。

(活用例) 完全自動運転、ドローンによる無人配送、ディープラーニング向けの多様な情報など



ご留意事項

- 当資料は、情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第307号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会